

科目名	地域教育特論	担当教員	長谷川ひとみ
科目属性	専門科目 B	単位数	2単位 (面接 0.5 単位)

【授業の目的・ねらい】

ボランティア元年といわれる 1995 年の阪神・淡路大震災、多くの NPO やボランティア団体が復旧作業に携わった 2011 年の東日本大震災、その後各地で発生した水害等を挙げるまでもなく、今日、人と人との繋がり大切さが再確認されています。また、他者との協力や分かち合いが実現する最も身近な存在としての地域社会の在り方に目が向けられています。さらに、戦後の歴史を振り返ると、高度経済成長期を中心に多くの若者を労働力として、都市部へ送り出してきた農山漁村は過疎地となり、今や消滅自治体を取り沙汰される事態になっています。一方、「東京一極集中」をくい止め、「地方創生」を図るために、より良い地域社会づくりに挑戦しようとする各地の人々の事例報告がなされるなどの話題も出てきています。しかし、子育てにおける極度の困難や高齢者の「孤独死」が示すように、地域社会が機能していなかったり地域力が低下したりしているところが多いというのも実状です。

ところで、学校現場では、学校評議員制度やコミュニティ・スクール制度等によって地域住民参加の仕組みが整えられてきました。しかし、わが子のこと以外は学校にお任せという親や、勤務の多忙化やゆとりのなさから、問題に立ち向かおうという姿勢が欠けがちな教師の下、制度が十分機能しているとは言い難いでしょう。

「学校・家庭・地域社会の連携」・「学社融合」という言葉が如実に示している「地域を重視し、地方を元気にする教育」を真に有効なものとするため、学校・家庭・地域社会がお互いを不平・不満・批判の対象にすることをやめ、他人任せにすることなく各人が問題解決への主体者とならなければなりません。自らが学校や地域の課題に取り組んで、解決のために学び活動し成長しなければならないのです。その学びや活動は生涯学習であり、その過程が自己実現への道のりだと考えられます。

児童生徒は地域社会に属しています。教師も地域住民の一人です。児童生徒、教師も含めた地域住民自らが地域の現状や問題点を具体的に把握し、地域づくりの活動に参加するべきです。

この授業では、受講者の皆さんが地域社会や学校現場で主体者となって、問題解決のための活動をしようという意欲を持つようになることを最終的な目標にします。そのための基礎となる概念を学ぶことを第一にします。次に、地域社会と学校との連携・融合の歴史や今日的意義を考えます。3 番目に、課題解決に成功した先行例や具体例を調べます。先行例や具体例の中には、地域社会と学校との双方向の関係作りを図るコーディネーターが重要な鍵を握っていることが分かります。学校と地域をつなぐコーディネーターの存在も不可欠です。子どもの学習のコーディネーター役を教師も担っています。そこで、4 番目に、学習におけるコーディネートの役割や可能性を考えたいと思います。

この授業の具体的な到達目標は、以下の 6 つとなっています。

1. 自分なりに地域社会の定義や規定ができ、所属する地域社会を具体的にイメージすることができる。
2. 地域社会と学校の関係が変化してきたことが分かり、新たな地域参加の必要性を理解することができる。
3. 地域社会が子どもに果たす役割・変遷を知り、子どもの放課後の居場所作りの必要性を考えることができる。
4. 学校は、子どもの地域生活の中から教材を生むことで、まちづくりに寄与できることが分かる。

5. ボランティア活動を含む地域住民の学校への関わりが、双方向での交流に繋がることを理解することができる。
6. 学習のコーディネーターである教師は、地域に帰れば地域コーディネーターに成りうることから、コーディネーターの役割や可能性を理解し、積極的に地域社会に関わろうとすることができる。

#### 【授業計画】

全 15 回の授業計画については、下記のとおりです。

- 第 1 回 地域社会の定義…マッキーバーの規定、情報コミュニティ等の緩やかな繋がりとの差異
- 第 2 回 地域開発と地域社会の変容、並びに教育への影響…教育環境としての地域社会
- 第 3 回 近代学校の成立と地域社会…学校の役割、地域社会との結びつき、新しい結びつきの模索・改革
- 第 4 回 教室の内側からの改革の構想…地域を基盤とする人々の連帯による教育の公共圏の確立
- 第 5 回 学校評議員制度とコミュニティ・スクール（CS）…地域共同体の崩壊と伝統文化の解体、学歴社会と学校機能の変化、新たな地域参加の仕組み作りの必要性
- 第 6 回 子どもの遊び空間としての地域社会…子どもの遊び関係と生活の繋がり的重要性と教育効果
- 第 7 回 昔の地域遊びと現代の地域教育活動…仲間集団による遊び(昔)と意図的地域教育活動の組織化
- 第 8 回 教育コミュニティとしての再生…放課後の居場所作り、放課後子どもプランの特徴と役割
- 第 9 回 総合的な学習の時間の誕生理由とその目的…思考力・判断力・表現力の育成、主体的な取り組み
- 第 10 回 特色ある学校作りと地域教材・学習活動の開発…教材と成りうるものの発見、地域調べ学習
- 第 11 回 地域への学習成果の還元とまち作り…地域貢献活動と学力、まち作り・地域作り
- 第 12 回 学校内に地域住民が入り活動することの教育的効果…生涯活動施設、コミュニティセンター
- 第 13 回 学校・子どもと地域社会との双方向の交流…様々なボランティア・NPO 活動
- 第 14 回 学校と地域社会の連携・融合の重要性…子どもへの寄与、地域力の向上・活性化への寄与
- 第 15 回 学校と地域社会の橋渡し役のコーディネーター…地域コーディネーター（コミュニティ・デザイナー）への高まる期待

#### 【評価方法】

事前レポート内容が 20%、スクーリング内容が 30%、科目修得試験 50%の割合で総合しての評価となります

#### 【教科書】

- ① 遠藤克弥編著『地域教育論 生涯学習から社会教育へ』  
(川島書店 2011 年 ISBN:9784761008734)
- ② 佐藤 学『教育改革をデザインする』  
(岩波書店 2009 年 ISBN: 9784000264419 )

#### 【参考図書】

参考図書として以下のものを挙げておきますが、これ以外にもたくさん読んでください。

- ・宮原誠一著『社会教育論』現代教育 101 選 29 国土社

ISBN: 9784337659292

- 久富義之・長谷川裕編『教育社会学』学文社

ISBN: 9784762016554

- 佐貫浩著『危機のなかの教育—新自由主義をこえる』新日本出版社

ISBN: 9784406056205

- E. デイルケーム著、佐々木交賢訳『教育と社会学』誠信書房

ISBN: 9784414517033

- J. Dewey『Democracy and Education』(The Macmillan Co.)

- 増田寛也編著『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』中公新書

ISBN: 9784121022820

- 山崎亮著『コミュニティデザインの時代』中公新書

ISBN: 9784121021847

- 岡檀著『生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由がある』講談社

ISBN: 9784062179973